

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	坂バカ集まれ！中山間地を漕いで走って村おこし事業
事業主体 (連絡先)	信州ながわ陣馬形山ヒルクライム実行委員会 (中川村役場振興課)
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,069,167円 (うち支援金: 936,000円)

事業内容

- ①村内自転車愛好家を中心とした実行委員会組織
- ②前日受付による前夜祭開催
- ③ヒルクライムレースの開催
- ④抽選会を開催し、村内農産物を参加者へ提供
- ⑤参加者へ村内施設割引券を提供し、村内施設の利用を促す。
- ⑥コース沿道の整備等に地区単位で協力を促す。



【実行委員集合写真】

事業効果

- ①自転車愛好家、村職員による16名の実行委員体制を組織し、16回の会議開催による検討を進めた。
- ②村内宿泊者の増加を図るため、前日受付とし、ピングオ大会や交流会などの前夜祭を計画。
- ③台風24号の直撃により参加者の安全を考慮しレースを中止とした。
- ④実行委員会による抽選により、参加申込者にもれなく村内農産物を初めとした賞品を郵送した。
- ⑤施設割引券を郵送し、村内施設利用を促した。
- ⑥コース沿線地区への説明会を開催し協力を求めたことから、自発的にコース沿道の整備が行われた。

【目標・ねらい】

- ①自転車を核とした中山間地の活性化
- ②自転車周遊に訪れる人の増加
- ③村民の自転車に対する意識の高揚を図り、継続的な自転車文化の創造

今後の取り組み

- ①実行委員会としても次回開催に向けて早々より協議を始め、前回計画以上の内容を企画していく。
- ②村内大会ボランティアを募り、村民全員が盛り上げていくような大会を目指す。
- ③ヒルクライムレースに関連する自転車イベントの企画として、村内で不定期に開催しているシクロクロスレースとのコラボレーションを行い、年間を通じて自転車で村を活性化させていく。
- ④村内宿泊施設、飲食店などと協働し、自転車で立ち寄れる施設としてアピールするため、自転車ラックなどの施設整備を行いたい。
- ⑤村内の子どもたちが自転車に関心を寄せてもらう取り組みとして、レースのジュニアクラスの充実を図る。

※自己評価【C】

【理由】

台風24号の直撃により、参加者の安全面を最大限考慮し実行委員会にて中止とした。

しかし、地域における自転車レースに対する期待は大きく、開催を残念がる住民が多くいたことから、次回開催への下地は十分につく事ができた。

今回計画段階で、村内の多くの方から農産物の提供を頂いた。自転車レースには全国から参加者が集まることから、村の農産物の宣伝にも大きく寄与した。